

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1. はじめに

令和6年度は昭和39年(1964年)に創立した本協会60周年の周年度として、『記念式典の開催』『記念誌(周年史)の発行』『記念イベントの実施』を記念事業の3つの柱に位置づけ、年間を通して各事業の運営に取り組んだ。役員が各事業を担当として受け持ち、企画、準備から実施にいたるまでを対応。各部とも連携を図りながら全ての事業を協会あげて滞りなく運営できた。各事業の中で本協会の活動の意義、歴史、魅力などをあらためて強く印象づけ、記念事業としての成果を残すことができた。

また、令和6年度は役員改選期として新たな執行部体制の下、役員有志をもとに「持続可能な協会運営のための刷新会議」を立ち上げ、今後の協会運営の在り方を様々な視点から協議した。会員の減少、物価高騰等による事業運営の厳しいやりくりなど、協会経営の取り巻く環境は年々厳しさを増す中、具体的且つ実践的な視座に立った今後の取り組みを示し、協会の各活動に落とし込んでいけるよう次年度も議論を継続させていく。

令和6年度は60周年の記念年度として、これまでの協会の歴史を振り返りながら、協会のさらなる魅力と社会的位置づけを高める記念事業の実施に努めながら、これからの協会運営の在り方を議論し、足場固めに努める節目の年度となった。

2. 会員状況

正会員、名誉会員の総数は前年度末1,705名から本年度末1,639名。66名減少(入会48名・退会114名)。

賛助会員の個人及び団体の総数は前年度末95から本年度末100件(団体71、個人29)。5件増(新規10、退会5〔団体3、個人2〕)。過去3年分も併せた各内訳及び推移は下表のとおりである。

部 門	令和3	令和4	令和5	令和6			
				正会員	名誉会員	計	前年比増減
絵画部 (日本画)	85	82	83	79	1	80	△3
絵画部 (洋画)	344	343	334	322	3	325	△9
彫刻部	39	39	41	41	1	42	1
工芸部	87	84	84	80	2	82	△2
書道部	352	345	337	329	1	330	△7
華道部	127	129	118	114	1	115	△3
邦楽部 (三曲・琵琶)	35	33	31	30	0	30	△1
邦楽部 (長唄)	27	25	24	24	0	24	0
洋楽部	130	132	136	134	1	135	△1
演劇部	2	2	2	2	0	2	0
文芸部	226	209	185	165	3	168	△17
舞踊部	15	15	15	19	0	19	4
茶道部	259	240	212	185	2	187	△27
写真部	107	102	103	100	0	100	△3
計	1,835	1,780	1,705	1,624	15	1,639	△66
賛助会員	112	102	95	—	—	100	5
合 計	1,947	1,882	1,800	—	—	1,739	△61

3. 会議に関する事項

定時総会、理事会、監事会、記念事業に関する会議を次のとおり実施した。

(1) 定時総会

会議名	期日	会場	審議事項
定時総会	6/1	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 役員の選任について

(2) 理事会

会議名	期日	会場	審議事項
第1回理事会	4/22	芸術協会 会議室	第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 役員候補者の推薦について 第3号議案 賛助会員の推薦について
第2回理事会	6/1	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 理事長及び執行理事の選定について 第2号議案 参事の推薦について 第3号議案 正会員の入会について 第4号議案 賛助会員の推薦について
第3回理事会	8/5	芸術協会 会議室	第1号議案 正会員の入会について 第2号議案 賛助会員の推薦について
第4回理事会	1/15	芸術協会会議室	第1号議案 令和7年度事業計画及び予算編成の方針について 第2号議案 賛助会員の推薦について
第5回理事会	3/17	芸術協会会議室	第1号議案 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案 名誉会員の推薦について 第3号議案 正会員の入会について 第4号議案 賛助会員の推薦について 第5号議案 令和7年度定時総会の開催について

※第3回・第5回理事会では、定款第24条第4項に基づき、理事長及び執行理事の職務執行状況の報告が行われた。

(3) 監事会

会議名	期日	会場	審議事項
監事会	4/16	芸術協会 会議室	令和5年度事業報告及び会計監査

(4) 記念事業検討会議〔理事・監事にて対応〕

会議名	期日	会場
記念式典・記念誌グループ会議	①4/25 ②8/5	芸術協会 会議室
記念イベントグループ会議	①4/22 ②6/3 ③9/9	

(5) 持続可能な協会運営のための刷新会議〔理事にて対応〕

会議名	期日	会場
刷新会議	①9/9 ②10/28 ③11/22 ④12/9	芸術協会 会議室

4. 事業について

（１）宮城県芸術祭の開催【公益目的事業 1】

定款第4条(1)に規定する61回目の開催となる宮城県芸術祭を、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団との8団体共催により開催した。

9月28日に開会式(会場:せんだいメディアテーク・参加者83名)、12月3日に表彰式(会場:トークネットホール仙台・参加者120名)を行った。開催期間内における各事業の概要は次のとおり。

①展示関係事業

展示部門の会員の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
写真展	9/28～10/1	せんだいメディアテーク5F	1,989 名	74 点
彫刻展	9/28～10/1	せんだいメディアテーク6F	1,583 名	29 点
絵画展	10/5～10/8	せんだいメディアテーク5・6F	4,772 名	日本画 35 点・洋画 170 点・役員等 74 点
華道展	10/12～10/15	せんだいメディアテーク5F	2,398 名	60 点
書道展	10/12～10/15	せんだいメディアテーク5・6F	4,016 名	258 点
工芸展	11/6～11/10	東北福祉大学ギャラリーミニモリ	1,743 名	48 点

※1 会期内各展の催し等を次のとおりに実施した。

◎写真展:企画展として①モニター展示「写真部会員による渾身の一枚」、②〔写真部創設 30 周年経過特別企画展示〕中嶋忠一の世界『100 万人の思い出・昭和の原点をたどる』の展示を行った。

◎彫刻展:招待作品として作家 1 名(松岡 圭介 氏)を招いて作品を展示した。また、受賞作家等が自作を語るアーティストトーク 9 月 29 日に会場内で開催した。

◎絵画展:審査を担当した会員によるギャラリートークを公募の部は 9 月 29 日、会員の部は 10 月 6 日に会場内で開催した。

◎華道展:チャレンジ席を設けて会員以外の 4 流派による作品(前期 2 点・後期 2 点)を展示した。

◎書道展:受賞者と選拔者による揮毫会を 2 部制として 10 月 13 日に会場内で開催した。

◎工芸展:小品コーナーを設け、25 名の会員作品を会期中展示した。

※2 60 周年記念事業の特別企画・ワークショップを各作品展内で次のとおりに行った。

彫刻展①	映像展示として、ドイツ人彫刻家とのオンライン交流を会場にて映像で会期中に紹介した。
彫刻展②	コラボレーション企画として、写真部会員が撮影した彫刻会員の制作風景写真を会場内に会期中展示した。
絵画展	役員等会場の展示作品を一般来場者が投票で審査する「あなたも審査員」を会期中実施した。
華道部	共同企画として工芸部作品に会場内で 8 流が日替わりお花を活ける「いけばなデモンストレーション」を実施した。
書道展	来場者に文字を書いてもらいながらカレンダーを制作するワークショップを 10 月 13 日に実施した。
工芸展	「いけばと工芸の美」と題し、華道部会員が花を活けた作品をコラボレーション作品として会期中展示した。

②演奏関係事業

洋楽部、邦楽部(長唄)において次のとおり演奏会を開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	出演者数
音楽会	11/9	日立システムズホール仙台	418 名	会員 21 名
長唄演奏会	11/17	トークネットホール仙台	133 名	会員 12 名 外部 1 名

③文芸関係事業

文芸部において各事業を次のとおり実施した。
文芸祭では文芸賞受賞者による作品の感懐と朗読、公募の入選発表と表彰を行った。

事業名	期日・発行日	会場	入場者数	備考
文学散歩	10/3	涌谷町	－	参加者 20 名
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	－	－	500 部発行
文芸祭	10/26	東京エレクトロンホール宮城	124 名	－

※文芸祭 文芸作品公募応募作品数 ()=は応募人数

	詩	短歌	俳句	川柳	エッセー	合計
ジュニア	12(12)	301(274)	102(97)	20(10)	－	435(393)
高校生・一般	14(14)	76(37)	40(16)	82(38)	18(18)	230(123)

④茶会

茶道部において茶会を次のとおりに開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
茶会	10/13・20	輪王寺	1,330 名	8 流派参加

⑤人材育成事業

幅広い県民参加の促進と各部の裾野の拡大や後継者の育成を目的に人材育成事業を次のとおり実施した。

a. 公募展の開催

写真部、絵画部、彫刻部において一般公募の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
フォトサミット in Sendai 2024	9/28～10/1	せんだいメディアテーク5F	1,989 名	応募(人数)1,024 点(299 名) 入選 108 点
絵画展(公募の部)	9/28～10/1	せんだいメディアテーク6F	1,583 名	77 点
彫刻公募展	9/28～10/1	せんだいメディアテーク6F	1,583 名	応募・入選 10 点

b. 音楽コンクールの実施

昨年度(第 44 回)コンクールの受賞者への特典とするガラコンサートを次のとおりに開催した。コンサートでは洋楽部会員による管弦楽団を構成し、出演者と共演した。
また、第 45 回音楽コンクールをピアノ部門、弦楽部門(ヴァイオリン部・チェロ部)、声楽部門の3部門で次のとおり実施した。(弦楽部門・チェロ部と声楽部門は本年度新設)

〔ガラコンサート〕

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
第 44 回音楽コンクール ガラコンサート	9/29	日立システムズホール仙台	出演受賞者 22 名 芸術協会管弦楽団 34 名	485 名

〔第 45 回音楽コンクール〕

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
ピアノ部門	予選 2/9	日立システムズホール仙台	出場計:100 名 初級A:11 名、初級B:13 名 中級A:40 名、中級B:22 名 上級A:10 名、上級B:4 名	352 名
	本選 3/16		出場計:54 名 初級A:6 名、初級B:6 名 中級A:20 名、中級B:13 名 上級A:5 名、上級B:4 名	202 名
弦楽部門 第 1 回チェロ部 (本選のみ)	2/9		出場計:26 名 きらきら星コンクール:6 名 クラスA:5 名、クラスB:4 名 クラス C:2 名 バッハ無伴奏チェロ組曲コンクール:9 名	252 名
弦楽部門 第 8 回ヴァイオリン部	予選 2/9		出場計:46 名 初級 A:7 名・初級 B:15 名 中級:21 名・上級:3 名	
	本選 3/20		出場計:51 名 初級 A:7 名・初級 B:12 名 中級:17 名・上級:3 名 ※以下、本選のみのクラス きらきら星コンクール:11 名 ツィゴイネルワイゼンコンクール:1 名	230 名
声楽部門 (本選のみ)	3/29		出場計:86 名 A 区分:15 名、B 区分:11 名 C 区分:13 名、D 区分:7 名 E 区分:13 名、F 区分:9 名 G 区分:18 名	345 名

c. 各種セミナーの実施

写真部において、一般県民を対象としたセミナーを次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	参加者	備考
第 1 回写真セミナー	10/11	芸術協会 会議室	10 名	講師:佐藤 崇 会員
第 2 回写真セミナー	10/18		9 名	講師:伊藤 トオル 会員
第 3 回写真セミナー	11/1		8 名	講師:高橋 吉勝 会員

※これまで報告した事業に加え、第 52 回洋舞公演（11 月 17 日、会場：東京エレクトロンホール宮城、来場者 900 名）、第 66 回仙台三曲協会定期演奏会（12 月 1 日、会場：トークネットホール仙台、来場者 245 名）、歳末たすけ合い第 61 回各流舞踊大会（12 月 1 日、会場：電力ホール、来場者 800 名）、を芸術祭参加行事とした。

（２）芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業 2】

定款第 4 条(2)に規定する本協会の主催及び後援の各事業を次のとおり開催した。

①鑑賞機会提供事業

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会など鑑賞する機会を提供することを目的とした事業を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
第 61 回宮城県芸術祭絵画展受賞者作品展 [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/3 ～ 12/9	東京エレクトロンホール宮城	541 名	会員の部 38 点 公募の部 16 点

②人材育成事業

芸術文化に関する人材育成と各分野の幅広い裾野拡大を目的とした各事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
第4回宮城県各流子ども舞踊大会 [主催:公益社団法人日本舞踊協会宮城支部]	8/10	仙台市福祉プラザ	120名	出演:7社中 18名
第5回杜のみやこ工芸展 [共催:河北新報社 公益財団法人河北文化事業団 公益財団法人宮城県文化振興財団]	11/6～11/10	東北福祉大学 ギャラリーミニモリ	1,743名	応募作品数(人数) 152点(128名) 入選:146点(内:主催団体 等賞19点、奨励賞10点)
書道部による県内小中学校の 講師派遣事業	訪問日	学校	対象学年	担当会員
	11/12	仙台市立将監小学校	6年	宮崎 礼子
	11/15	仙台市立高森中学校	1-3年	小幡 香風
	11/28	大崎市立沼部小学校	5-6年	大町 青蓮
	12/4	気仙沼市立鹿折小学校	3-6年	武山 櫻子
	12/5	川崎町立川崎中学校	1-3年	無着 遊山
	12/11	仙台市立向山小学校	4年	佐藤 華炎
	12/12	仙台市立遠見塚小学校	3年	村山 柳雅
	12/12	加美町立東小野田小学校	3・5・6年	後藤 法明
	12/13	大崎市立三本木小学校	3・5年	佐々木 鳳堂
	12/20	女川町立女川小学校	3・4年	伊澤 香雨
第11回定禅寺フォトコンテスト [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/16～12/22	東京エレクトロンホール宮城	240名	応募:139点 内、入賞・入選:46点
第10回子供の邦楽コンサート [主催:仙台三曲協会]	3/30	宮城野区文化センター		

③後援事業

「河北書道展」など、本協会に本年度申請された72件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付(賞状や賞品等)を行った。

【(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】】

定款第4条(3)に規定する国内及び国外との芸術文化の交流事業を次のとおり実施した。

○東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業

東北・北海道の各道県を代表する芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、本協会含め7団体で構成する東北・北海道芸術文化団体協議会の総会並びに交流事業を幹事担当の北海道文化団体協議会が主体となって実施した。

総会は令和6年6月21日に北海道(会場:札幌市豊平館)において開催。

交流事業は各地区の子供の絵画・書道作品のweb作品展として「こどもアール・ブリュリットWEB 展覧会」(令和6年9月24日から公開)を実施した。また、作品図録として北斗48号を発行した(令和7年2月28日付・1,500部)。

（４）会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

定款第４条(4)会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行に関する事業として、本協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るため機関紙「はなやま」と「会員名簿」を次のとおり発行した。

事業名		発行日	部数	内容
機関紙「はなやま」刊行	(238号)	7/5	2,200部	記念式典開催報告、総会報告、令和6年度事業計画・予算書等
	(239号)	11/29		60周年記念イベント報告、芸術祭各事業及び芸術祭受賞者報告
「会員名簿」発行		7/1	1,900部	役員改選に伴うもの

◎協会創立60周年記念事業について

協会創立60周年事業として次の事業を実施した。

事業名	期日・発行日	会場	入場者数	内容
〔他事業〕 創立60周年記念式典	5/9	戦災復興記念館	168名	〔第一部〕 記念表彰：支援団体・賛助会員・歴代理事長 記念対談： 「宮城県芸術祭と地域の芸術文化振興のこれから」 宮城県環境生活部長 佐々木 均 様 宮城県芸術協会理事長 吉田 利弘 〔第二部〕 記念講演 「私を育んでくれる『文化』」 講師：小松 弥生 氏（東京国立近代美術館館）
〔公益目的事業1〕 創立60周年記念イベント 「アートのちから」	10/6	せんだいメディアテーク	380名	出演 会員15名 外部11名 〔第一部〕受け継がれるちから 出演：華道部・邦楽部・茶道部・舞踊部（日舞） 〔第二部〕響き合うちから 出演：文芸部・書道部・洋楽部・演劇部 舞踊部（洋舞）
〔他事業〕 「六十周年史」発行	11/29	—	—	2,000部発行 〔内容〕○理事長及び歴代理事長寄稿 ○成果と課題・協会十年のあゆみ ○記録の部・年表・会員動態表 等

◎本年度の中止事業について

諸般の事情により次の事業を中止とした。

事業種別		事業名	担当部門
公益目的事業2（主催・後援事業）	鑑賞機会提供事業	みやぎミュージックフェスタ	洋楽部
	伝統文化体験事業	第24回杜の都大茶会	茶道部
他事業	研修	講演会	協会全体